

紙上第2回、学校説明会です。(動画学校説明会の配信を始めました)



混乱する「けやき君」

入試広報部長挨拶

紙上第2回学校説明会です。「百聞は一見に如かず」のとおり、学校の等身大の姿はオープンスクールでの雰囲気、説明会での在校生の「生の声」、在校生の保護者の「生の声」を皆様に見て聴いて感じ取っていただくのが一番です。しかし、社会情勢の変化でこのような異例の形ではありますが、紙上にてしばらくお付き合いくださいませ。

男子校はカラーが鮮明(きめ細かいとか、放任とか)です。校風・教育理念もさることながら、クラブ活動の活躍の程度、大学入試結果、学習フォロー体制なども学校の姿勢が色濃く出るところです。偏差値だけではない、ご子息の成長を想像できる学校選びが大切だと考えます。一昨日から、動画学校説明会を限定公開しました。本校ホームページから「志願サイト」へアクセスして、登録後に希望する方へ URL を配信しますのでご覧いただけましたら幸いに存じます。急ごしらえの部分もありますが、現時点での入試日程の決定部分、校風、学校生活などをコンパクト(10分程度)にまとめて説明しています。今後、新入生・在校生の「生の声」をお届けできるような音声または動画も企画しておりますので、ご期待ください。

本校は、1972年の創立以来49年目を迎え、埼玉県私立高校の男子教育において一日の長があると自負しております。2022年の高校50周年、中学30周年に向けて、さらに教育内容の充実を図っていく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

本校の教育環境

学年主任が、自然に学年全生徒の顔と名前を一致させられる教育規模です。例年、中学は1学年80名前後(3クラス)、高校は250名前後(7クラス)です。卒業生はよく「先生との距離が近い、質問しやすい、職員室に行きやすい」などと言ってくれますが、教育規模も関係していると思います。また、一人の生徒に対して、さまざまな角度からアドバイスする文化があります。クラブ活動を安易に辞めさせない担任、夏休みの宿題に世話を焼く顧問、あきらめさせない教科担当、まさに三位一体といえる指導を実現しています。

施設は豪華なものはありませんが、色々な施設とすべてのグラウンドが同じ敷地内にまとまっているオールインワンの学校で、生徒が安心して、クラブ活動と学業に取り組める教育環境が整っています。サッカー場、野球場などは中学、高校別々にあります。また、理科室などは大学並みの設備を整えており、中でも校内を流れる「古川」のほとりにある「生物多様性実験池」はユニークです。

混乱するけやき君

本校には、けやき君というキャラクターがあります。本校の26期生が在学中に原画を書いて、芸大卒の9期生がブラッシュアップしたものです。左上の絵は、勉強して「混乱しているけやき君」です。ゲーテがその著書『ファウスト』で神に語らせているように「人間は、努力する限り、迷うものである」。先行き不透明な時代に突入しています。そもそも行き先がクリアーで見通せる時代はあったのでしょうか。見通せない未来に向かって、自分らしさを見失わずに、やさしさとたくましさを兼ね備えた魅力的な大人を目指して、城西川越で勉強して行きませんか。



7月3日 渡辺 聡(入試広報部長)